

第2回豊明市高齢者福祉計画策定・推進委員会 議事要旨

日時 令和7年10月2日（木）14時00分～15時00分

場所 豊明市役所 新館1階 会議室5

〔出席〕委員13名（欠席：1名）

〔傍聴者〕なし

1 あいさつ

・委員の交代

・地域の高齢者に直結する大事な計画である。これまでを振り返り、今後を検討することにより、実際に即した計画となる。

2 議 題

（1）第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について（資料1～5）

・事務局より説明

【質疑応答】

（委員）

データの推移を調査する目的は、さまざまな経費を下げることか。高齢者が増えているので難しいと思う。

→（事務局）

経費の削減が目的ではなく、データの推移の原因を分析し、施策を第10期に反映させる。そのためにニーズ調査を行うなど、現状をしっかりと捉えて計画を立てていく。

（委員）

件数の増加を牽制していくような施策を打つということか。

→（事務局）

サービス費用や保険料が安ければいいという問題ではなく、高齢者が過ごしやすい環境を整えるというのが基本的な目的である。

介護保険事業計画は、3年間の介護に要する費用がどれくらいかということを推計して立てており、その見込みと実績の差を見ている。見込みから大きく乖離しているのであれば、何が原因かということを調査している。

「おたがいさまセンターちゃっと」は、費用抑制というよりは、介護人材不足の解消という面が大きい。

→（委員）

民生委員もなり手がいない。社会全体で協力できるとよい。

（委員）

資料 3「介護予防サービス推計」について、今後決算が計画を上回るのではないか。

→（事務局）

令和 4、5 年は第 8 期計画の見込みとして掲げたが、実績値とかなり乖離があったため、第 9 期計画を策定する上で、実績値を踏まえた計画値に修正をした。上回る可能性もあるが、介護給付費全体の計画対比では、実績の方がまだ少ないため、もし決算が計画を上回ったとしても、現状の保険料計画の中では抑えられると考えている。

また、第 8 期と第 9 期では、介護報酬の水準が上がったことが原因でもあるため、令和 6 年度から 7 年度の上昇幅が同じとなるわけではないと考えている。

→（委員）

2025 年になり、ますます実績値は伸びると思うので注視したい。

（２）高齢者等実態把握調査の実施について（資料 6～9）

・事務局より説明

【質疑応答】

（委員）

調査の中で課題が見つかった方に対して、何か個別に対応するのか。

→（事務局）

回収数は 1 万を超えており、個別的なアプローチは今のところ考えていない。

→（委員）

課題を把握するチャンスであるため、支援に繋がるとよい。

（委員）

「住民健康実態調査 問 6-15 16. パーキンソン病」について、難病はパーキンソン病だけではないが、国に合わせてあるのか。

→（事務局）

国に合わせてある。

→（委員）

介護に直結しそうな病名を入れる検討もしてみてもどうか。

(委員)

在宅介護実態調査でヤングケアラーなどが把握できたケースはあるのか。

→ (事務局)

今のところ把握していないが、そのような場合は福祉部局として動く必要が出てくると考えている。

(委員)

在宅介護実態調査は、どれぐらいの期間で調査を行うのか。

→ (事務局)

1～2 か月程度でお願いしたい。

→ (委員)

すべてのケアマネが忙しくしているため、早めに発信をして時間の余裕がほしい。

→ (事務局)

可能な限りご協力をお願いしたい。

(3) 第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の今後のスケジュールについて

(資料10)

・事務局より説明

3 その他

・議事録を郵送するので、意見等があればお願いします。

以上